

令和８年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）に係る 大阪府公募型プロポーザル方式等事業者選定委員会 議事要旨

1 日時

令和７年１２月１９日（金曜日） 午前１０時００分から午前１０時３０分まで

2 場所

エル・おおさか本館１１階セミナールーム

3 対象事業

離職者等再就職訓練に係る事業者選定

4 選定委員

榎 伸浩（大阪府社会保険労務士会）

松原 光代（近畿大学経営学部）

安藤 正明（独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大阪支部）

後藤 拓真（近畿職業能力開発大学校）

5 審査方法

令和８年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）企画提案公募要領記載の審査基準に基づき、４名の選定委員会委員が書類審査を行い、令和８年度大阪府委託訓練事業（離職者等再就職訓練）企画提案公募要領の７の(２)審査基準の配点に基づき採点・評価した。

6 議事概要

令和８年度に実施する大阪府委託訓練（離職者等再就職訓練）の実施事業者を選定するため、企画提案公募を実施し、応募のあった事業者の企画提案についてその内容を選定委員会で評議するとともに、総合得点の高い者順に公募科目に応じて選定した。

また、未選定となった開講月がある科目については、公募要領７（１）イに記載のとおり、その科目に提案した事業者のうち、未選定開講月の開講協議を希望する事業者に対し、総合得点の高い者順に開講協議を行い、選定することで合意した。

7 選考委員発言等要旨

カリキュラム、就職支援内容の審査にあたっての考え方等について意見があった。

- ・就職に向けて、いかにモチベーションを保ち就職に繋げていくかが重要である。また、就職後、リタイヤを防ぐ工夫が記載されている提案や、就職支援内容に具体性がある提案は高評価とした。
- ・就職率向上の観点のみならず、リアリティショックによる早期離職を防ぐための職場定着に対しての取組が豊富な提案は高評価とした。また、本人のキャリアを踏まえた上での支援となっているかについても重視した。
- ・求人・求職ニーズの分析に沿ったカリキュラムとなっているか、事業者の強みと思われる独自のカリキュラムは、それがどのように求人・求職ニーズにマッチングしているかに着目して審査を行った。
- ・分析について、全国規模のデータを使用したものではなく、修了生や就職先企業へのアンケート等、地域の事情に応じた具体性のある分析を行っているかどうかに着目した。また、受講生へのフォローアップに対して明確に記載されている提案は高評価とした。なお、デジタル技術による社会変化への対応がカリキュラムや講師一覧に反映されているかは重要である。